

平成30年度 地球温暖化防止に向けた市の取り組み結果

平成30年度に市の事務・事業活動によって排出された温室効果ガスの総排出量は、13,024トンでした。平成25年度(基準年度)比で、約0.63%減少しましたが、目標(令和4年度までに、11,746トン以下)を達成することができませんでした。今後も第2次久喜市環境保全率先実行計画に基づき、引き続き取り組みを進めていきます。

平成30年度取り組み結果

項目	主な取り組み内容	取り組み項目	平成30年度目標値※1	結果(平成25年度比)
電気使用量★	昼休み時の消灯、ノー残業デーの実施、トイレ・給湯室・会議室等のこまめな消灯、冷暖房温度の適正管理、太陽光発電システムの活用等	—	3.5%削減	2.3%増加
施設の燃料使用量★	ボイラー等の適正な運転、冷暖房温度の適正管理、沸かし過ぎや確実な栓締め等ガス器具等の適正使用、省エネルギー機器の導入等	都市ガス	3.3%増以内	14.6%増加
		LPガス	0.0%増以内	0.8%増加
		灯油	17.2%削減	37.3%削減
		A重油	7.8%削減	14.0%削減
公用車の燃料使用量★	水曜日ノーカーデーの実施、出張時の公共交通機関の利用、公用自転車の利用、アイドリングストップの実施等	ガソリン	11.4%削減	19.5%削減
		軽油	30.1%削減	33.0%削減
水道使用量	節水コマの取り付け、こまめな蛇口の開閉、トイレの1回流し等	—	±0	5.9%削減
ごみの減量	分別回収ボックスの活用、使い捨て容器の購入や使用を控える、物品の共有化等	本庁	—	47.7%削減
		全庁	分別の徹底	分別の徹底
コピー用紙購入枚数	ミスコピー用紙の裏面使用、両面印刷・両面コピーの実践、会議資料の簡略化、必要最小部数の作成、市役所LANによるメール・掲示板の活用等	—	±0	1.0%削減
グリーン購入の推進	購入前にグリーン製品であることを確認、環境汚染物質を発生する可能性のある製品の購入を控える、グリーン購入情報提供システムの活用等	—	購入率95%以上	購入率78.7%
公共事業に係る環境配慮(A評価の割合)	公共事業環境配慮項目の実施、低騒音・低振動型の建設機械の使用、再生資源の活用、工事現場からの汚染防止、建設廃棄物等の適正処理等	—	A評価割合95%以上	A評価割合100%

★印は、温室効果ガス排出量算定の基礎となる項目です。

※1 平成30年度目標値は、「第2次久喜市環境保全率先実行計画」(平成29年3月策定)で定めた目標値です。